第7回 学校生活部会 会議報告

日 時:令和8年10月8日(木)
17時 30 分～19時10分
場 所:岡谷西部中学校 応接室

〇次 第

1.開会
2.議題
（1） 運動服(Tシャツ)のロゴマークの検討について
（2） 後期課程進級式について
（3） 通学カバンについて
3.意見交換(制服の検討状況等)
4.閉会

〇部会で出された主な意見

(1) 運動服(Tシャツ)のロゴマークの検討について

▸児童生徒の投票結果とロゴマークの選定方針について

・児童生徒選考委員会による運動着のロゴマーク投票結果を報告。投票結果は、「ツツジの花をモチーフにしたデザイン」が9票で第１位、「エンブレム風デザイン」が6票で第2位、「筆記体デザイン」が4票で第3位だった。

・メーカーによるとフォントや配置等の微修正は柔軟に対応可能。児童生徒への本番アンケートに向けて候補を絞り込んで提示することとしました。

▸ロゴデザインの修正・絞り込みについて

・1位のツツジの花のモチーフは、「ツツジに見えないため、ツツジ特有の葉っぱを加えたらどうか」との意見が出され、葉を配置したデザインへ修正を依頼することとした。

・「Since 2027」の文字表記は、小学生から年号の意味について疑問が出たことや誤解を防ぐ観点(次は2028となるのか等)から、見直しすることとした。

・第2位のエンブレム案は、中央部分の文字(アルファベットの K)をツツジの花と葉に変更する修正案が出された。

・児童生徒のアンケートの選択肢は「①ツツジの花・葉＋筆記体の組み合わせ案」「②ツツジの花・葉を配したエンブレムタイプ案」、「③漢字表記「川岸学園」案」の3案を作成・提示し、児童生徒の投票により決定する方針となった。

▸ロゴマークの配置位置及び仕様・価格について

・ロゴマークを入れる場所は、選考委員会の投票結果を踏まえ、「Tシャツは左胸(正面)」、「長袖ジャージは襟元(背面上部)」に配置する方向で決定した。

・プリント箇所を複数に増やしたり、サイズを拡大したりした場合、1 着あたり 200～500 円程度の費用が加算される。②のエンブレム案が選ばれた場合は元のサイズが小さく文字が読めないため、サイズ拡大を検討する。

・児童生徒アンケートで1位と2位が僅差となった場合は、ジャージとTシャツで上位2案を振り分ける方針とし、大差がついた場合は両方に1位のマークを採用することとした。

（2） 後期課程進級式について

▸保護者アンケート結果の報告について

・前回の部会方針（単独の後期課程進級式は行わず、開校式等へ包含する案）を受け、学校長へ報告し、意向を受けて、現6年生の保護者を対象にアンケート調査（回答 38 件）を実施。

・集計結果は、**「保護者も参列する『進級式』を行ってほしい」が 21 件（55.3%/過半数）を占め、「学年集会や始業式等での気持ちの切り替えでよい」が 12 件（31.6%）、「特別な式は不要」**が2件となった。

・自由記述では、小学校6年間の区切りとして中学生になる自覚を持たせたい点や、他の中学校と同様に保護者として節目を見届けたいという要望が寄せられた。

▸小学校入学式と後期課程進級式の合同実施について

・保護者の節目行事への要望に応えつつ、開校当日に式典が 4 連続（開校式・後期課程進級式・始業式・入学式）となる過密日程を緩和するため、**「第1学年（新入生）の入学式」と「第 7 学年の後期課程進級式」を合同で実施する案が提案され**、部会として採用する方向で一致。

・異年齢の児童生徒が共に学ぶ義務教育学校ならではの特色として、1 年生はお兄さん・お姉さんと共にスタートする安心感が得られ、7 年生は新入生を迎えて後期課程に進む自覚が醸成されることから教育的意義の組み合わせであるという意見が出された。

・第1学年と第7学年に兄弟姉妹が同時に進学する家庭にとっても、午前・午後に分かれて参列する負担が解消されるメリットがある。

▸式典の時程・参加対象者について

・当日は午前中に保護者参列なしで「開校式」および全校の「始業式」を執り行い、午後に保護者参列のもとで「入学式・後期課程進級式（合同）」を挙行する方向で調整を進める。

・午後の合同式典における在校生の参加範囲について、全校参加とすると弁当持参が必要となり、家庭の負担が大きくなるため、歓迎やエスコートを担当する児童会・生徒会役員や最上級生（9 年生）等、必要な代表児童生徒のみの参加にとどめる方向で検討することとした。

・開校初年度（令和9年度）は保護者の心情に配慮して式典を実施し、将来的には学年集会等の簡略な形態への移行も視野に入れて検討をしていく。

（3） 通学カバンについて

▸推奨品（3 種類）の選定と選考方法について

・メーカーより提示されたサンプル3種類について、小学校5・6年生の選考委員に背負ってもらい、意見聴取を行った。

・児童からは**「提示された3種類の中から各自で選べるようにしてほしい」**との声が多く寄せられていることが報告された。

・完全自由化とした場合、選択基準の難しさや家庭間のブランド・価格競争による負担が生じる懸念があるため、「推奨品3種類の中から各家庭の判断で選択・購入できる方式」が好ましいという方向で合意したが、共創委員会の決定次項については確認することとした。

▸既存カバンの活用（お下がり等）及び保護者への周知について

・全員に一律の新規購入を強制するのではなく、現6年生（新7年生）については兄姉の現行指定カバン等のお下がり使用を認める。

・小学校（1～6年生）の推奨カバンは1種類でサイズが小さいため、原則として7年生進級時に新カバン（推奨3種）へ切り替える運用となることが確認された。

▸識別・安全対策（キーホルダー・反射材等）について

・カバンが黒色基調で統一されるため、自分のカバンが判別しにくくなる課題について議論した。

・内側ネームタグに加え、過度にならない範囲での目印用キーホルダー（1個程度）の装着容認やネームワッペンの活用などを検討する。

・夜間の登下校時の安全確保のため、反射材（リフレクター）の有無を確認し、メーカーに対して、カバンの反射機能の充実を引き続き要望していくこととした。

（4）その他の検討事項（制服の検討状況等）

▸新制服導入に向けたスケジュールについて

・令和9年度開校時は現行制服を継続し、令和10年4月の新制服導入に向けて検討を進めるスケジュール案がメーカーより提供されたため、そのスケジュールを共有した。

・11月に制服の勉強会および見本展示（各社よりブレザー、スカート、スラックスの見本等）を実施し、12月～2月頃に業者によるプレゼンテーションを実施したのち、選考委員会（部会および児童生徒委員）で業者を選定する流れを確認した。

▸仕様・価格への配慮及び市内中学校の動向について

・ブレザー化に伴い現行制服より1万～2万円程度価格が上昇する懸念があるため、柄物（チェック等）に比べて安価な無地の採用や、標準服スタイル（ボトムスのみ指定等）も含め、保護者負担に十分配慮して検討していく。

・市内4中学校での統一制服の可能性についても、各校の状況や過去のアンケート結果を踏まえつつ、校長会等の動向を踏まえて、丁寧に進めていくこととした。

〇今後の進め方

・運動着ロゴマークの修正デザイン（ツツジの葉追加、エンブレム修正、漢字表記）の作成および児童生徒（小5～中3）による全校アンケートの実施（10月中旬を目途）。

・運動着および通学カバンの決定に伴うプレスリリース（「川岸学園ニュース」への掲載準備）

・制服の見本展示および勉強会の開催（11月中）。

〇次回部会の開催予定

日　時：令和8年11月下旬 開催予定

場　所：岡谷西部中学校（予定）